



平成 29 年 8 月 15 日

人工知能(AI)を活用したマーケティングモデルの導入についてのお知らせ

筑波銀行（頭取：藤川 雅海、本店：茨城県土浦市）は、人工知能(AI)を活用したマーケティングモデルを株式会社浜銀総合研究所（代表取締役：大久保 千行、本社：神奈川県横浜市）の支援のもと開発し、当行で稼働している EBM（イベント・ベスト・マーケティング）※1 に下記の通り実装しますのでお知らせいたします。

FinTech(フィンテック)のひとつである AI を活用したマーケティングモデルを実装することで、よりお客さまの幅広い商品やサービスのニーズに、的確にお応えしてまいります。

※1. EBM（イベント・ベスト・マーケティング）…お客さまの取引などの変化を捉え、最適なタイミングで最適な商品やサービスを提案するマーケティング手法

記

1. マーケティングモデルの概要

お客さまの属性情報や時系列取引履歴などのビッグデータに基づき、カードローンなど商品やサービスの購入可能性を、教師あり機械学習※2 機能を備えた AI によって算出します。

この AI をかねてよりマーケティングに活用している EBM に実装することにより、各チャネルにおいてこれまで以上にお客さまのニーズやライフイベントに適った商品やサービスを提供することができます。

このように Finance(金融)と Technology(技術)を融合した FinTech(フィンテック)を活用し、お客さまとの接点を積極的に深め、最初に相談したい銀行『First Call Bank(ファースト・コール・バンク)』を目指します。

※2. 教師あり機械学習…教師（答え）となるデータを事前に与え、答えに近づくモデルをデータから学習させるアルゴリズムのこと。

2. 実装時期

平成 29 年 9 月中

3. 対象商品・サービス

当初はカードローン（IMA☆）のダイレクトメールやテレマーケティングによるセールスを想定していますが、教育ローンや自動車ローンなど商品・サービスやチャネルを順次拡充してまいります。

4. 株式会社浜銀総合研究所について

名 称	株式会社浜銀総合研究所
代表者	大久保 千行
所在地	神奈川県横浜市西区みなとみらい 3-1-1

以上

報道機関のお問合せ先			
筑波銀行	総合企画部広報室	鈴木	内線3731
Tel 029-859-8111			